



2026年5月13日

各 位

会社名 株式会社椿本チェーン  
代表者名 代表取締役社長 木村 隆利  
(コード番号 6371 東証 プライム)  
問合せ先 サステナビリティ戦略部長 野口 由起子  
(TEL. 06-6441-0054)

特別利益および特別損失の計上ならびに  
2026年3月期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期通期連結決算において、下記のとおり特別利益および特別損失を計上いたしました。これに伴い、2025年10月31日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおり併せてお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上

当社は、「株式会社椿本チェーンと大同工業株式会社との経営統合に関する経営統合契約及び株式交換契約締結（簡易株式交換）のお知らせ」で公表いたしましたとおり、株式交換により2026年1月1日付で大同工業株式会社を連結子会社化いたしました。これに伴い、2026年3月期第4四半期連結会計期間において、負のれん発生益116億43百万円を特別利益として計上いたしました。

2. 特別損失の計上

(減損損失)

当社の連結子会社であるU.S. Tsubaki Holdings, Inc.（所在地：米国イリノイ州）のマテハン事業に係る顧客関連資産および商標権について、足元の受注環境の変化等を踏まえ、将来の事業計画および将来キャッシュ・フローの見通しを慎重に検討した結果、回収可能価額はゼロと判断し、帳簿価額の全額を減額する減損損失42億14百万円を計上いたしました。なお、本件により当該無形固定資産の残存簿価はゼロとなります。

また、当社の連結子会社である椿本鏈条（天津）有限公司（所在地：中国天津市）が保有するチェーン事業に係る有形固定資産および無形固定資産について、固定資産の収益性および回収可能性を検討した結果、回収可能価額は正味売却価額と判断し、帳簿価額を減額する減損損失4億27百万円を計上いたしました。

(事業再編損)

生産体制の最適化を目的とした拠点再編の一環として、将来的に当社の連結子会社である椿本汽車発動機（上海）有限公司（所在地：中国上海市）を閉鎖する方針としております。

これに伴い、当該拠点に保有する棚卸資産および機械装置およびソフトウェアの一部について、今後使用見込みのない資産の処分を予定しており、当該資産の帳簿価額をゼロまで減額する事業再編損11億96百万円を計上いたしました。

3. 2026年3月期 通期連結業績予想と実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2025年10月31日 発表)	百万円 284,000	百万円 20,000	百万円 22,000	百万円 19,000	円 銭 189.15
実績値(B)	295,878	21,578	24,804	29,708	295.80
増減額(B-A)	11,878	1,578	2,804	10,708	—
増減率(%)	4.2	7.9	12.7	56.4	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	279,193	22,854	25,332	22,122	212.65

差異の理由

売上高および営業利益、経常利益については、大同工業株式会社を1月1日付で連結子会社化したこと、モビリティ事業が好調に推移したことが主な要因であり、親会社株主に帰属する当期純利益については、前述の要因に加え、第1項および第2項に記載のとおり、負ののれん発生益の計上および減損損失ならびに事業再編損等の特別損失を計上したことが主な要因となっております。

以 上